

第3回 JR肥薩線復興アクションプラン推進会議

令和8年（2026年）10月9日（金）

14:00～15:00

人吉市保健センター 2階大会議室

議事次第

1 開会

2 議事

- （1） JR肥薩線復興アクションプラン推進会議規約の改正
について**
- （2） 令和7年度事業報告について**
- （3） JR肥薩線復興アクションプラン第2期中期計画（案）
及びR9単年度計画（案）について**

3 その他

4 閉会

第3回JR肥薩線復興アクションプラン推進会議 出席者一覧

機関・所属	役職	氏名	備考
熊本県	企画振興部長	長畑 匡紀	
九州旅客鉄道株式会社	地域交通まちづくり部	中島 剛志	
八代市	副市長	平井 宏英	
人吉市	副市長	溝口 尚也	
芦北町	副町長	松本 俊造	
錦町	副町長	深水 英雄	
多良木町	副町長	岡本 雅博	
湯前町	副町長	清藤 浩文	
水上村	総務課長	田代 浩章	
相良村	総務課長	川邊 俊二	
五木村	総務課長	竹村 文秀	
山江村	総務課長	松尾 充章	
球磨村	復興推進課長	蔵谷 健	
あさぎり町	副町長	土肥 克也	

[アドバイザー]

国土交通省九州地方整備局	八代復興事務所長	雪丸 剛	
	八代復興事務所工務第一課長	戸高 哲也	
	八代河川国道事務所 副所長	末吉 仙英	
	八代河川国道事務所事業対策課長	米山 直貴	
国土交通省九州運輸局	交通政策部交通企画課長	小堀 まろり	WEB参加
	観光部観光企画課長	山下 義隆	WEB参加
	鉄道部地方鉄道再構築推進調整官	津留 崇明	
	鉄道部計画課監理係長	鎌田 拓也	
	熊本運輸支局首席運輸企画専門官(企画調整担当)	平野 光祐	
	熊本運輸支局運輸企画専門官(企画調整担当)	阿川 哲	

[事務局]

熊本県企画振興部	交通政策・統計局長	受島 章太郎	
	交通政策課長	浦本 雄介	
	交通政策課 公共交通強化室長	松田 英生	
	交通政策課 公共交通強化室 課長補佐	崎田 雄一郎	
	交通政策課 公共交通強化室 参事	田村 あかり	
	交通政策課 公共交通強化室 主事	桑島 康生	

規約の改正について

規約の改正について

- 九州旅客鉄道株式会社の組織改編に伴い、規約を次のとおり改正する。

旧	新																																		
第1条～第3条 （省略） 第4条 推進会議に次の役員を置く。 （1） 会長 1名 （2） 副会長 1名 2 会長は、熊本県企画振興部長をもって充てる。 3 副会長は、九州旅客鉄道株式会社総合企画本部地域戦略部長をもって充てる。 第5条～第11条 （省略） 附則 この規約は、令和7年（2025年）7月29日から施行する。	第1条～第3条 （省略） 第4条 推進会議に次の役員を置く。 （1） 会長 1名 （2） 副会長 1名 2 会長は、熊本県企画振興部長をもって充てる。 3 副会長は、九州旅客鉄道株式会社総合企画本部地域交通まちづくり部長をもって充てる。 第5条～第11条 （省略） 附則 この規約は、令和7年（2025年）7月29日から施行する。 附則 この規約は、令和8年（2026年）10月9日から施行し、令和8年（2026年）4月1日から適用する。																																		
別表1（第3条関係） <table> <tr> <th>熊本県</th><th>企画振興部長</th></tr> <tr> <td>九州旅客鉄道株式会社</td><td>地域戦略部長</td></tr> <tr> <td>八代市</td><td rowspan="12">副首長 (不在の場合は各市町村で指定する者)</td></tr> <tr><td>人吉市</td></tr> <tr><td>芦北町</td></tr> <tr><td>錦町</td></tr> <tr><td>多良木町</td></tr> <tr><td>湯前町</td></tr> <tr><td>水上村</td></tr> <tr><td>相良村</td></tr> <tr><td>五木村</td></tr> <tr><td>山江村</td></tr> <tr><td>球磨村</td></tr> <tr><td>あさぎり町</td></tr> </table>	熊本県	企画振興部長	九州旅客鉄道株式会社	地域戦略部長	八代市	副首長 (不在の場合は各市町村で指定する者)	人吉市	芦北町	錦町	多良木町	湯前町	水上村	相良村	五木村	山江村	球磨村	あさぎり町	別表1（第3条関係） <table> <tr> <th>熊本県</th><th>企画振興部長</th></tr> <tr> <td>九州旅客鉄道株式会社</td><td>地域交通まちづくり部長</td></tr> <tr> <td>八代市</td><td rowspan="12">副首長 (不在の場合は各市町村で指定する者)</td></tr> <tr><td>人吉市</td></tr> <tr><td>芦北町</td></tr> <tr><td>錦町</td></tr> <tr><td>多良木町</td></tr> <tr><td>湯前町</td></tr> <tr><td>水上村</td></tr> <tr><td>相良村</td></tr> <tr><td>五木村</td></tr> <tr><td>山江村</td></tr> <tr><td>球磨村</td></tr> <tr><td>あさぎり町</td></tr> </table>	熊本県	企画振興部長	九州旅客鉄道株式会社	地域交通まちづくり部長	八代市	副首長 (不在の場合は各市町村で指定する者)	人吉市	芦北町	錦町	多良木町	湯前町	水上村	相良村	五木村	山江村	球磨村	あさぎり町
熊本県	企画振興部長																																		
九州旅客鉄道株式会社	地域戦略部長																																		
八代市	副首長 (不在の場合は各市町村で指定する者)																																		
人吉市																																			
芦北町																																			
錦町																																			
多良木町																																			
湯前町																																			
水上村																																			
相良村																																			
五木村																																			
山江村																																			
球磨村																																			
あさぎり町																																			
熊本県	企画振興部長																																		
九州旅客鉄道株式会社	地域交通まちづくり部長																																		
八代市	副首長 (不在の場合は各市町村で指定する者)																																		
人吉市																																			
芦北町																																			
錦町																																			
多良木町																																			
湯前町																																			
水上村																																			
相良村																																			
五木村																																			
山江村																																			
球磨村																																			
あさぎり町																																			

J R 肥薩線復興アクションプラン R7単年度計画の進捗について

J R肥薩線復興アクションプランR7単年度計画における事業報告

[観光利用施策]

第1期重点施策

球磨川の自然や地域の
文化資源を活かした
観光施設・景観の整備

観光の拠点としての
人吉駅周辺整備

地域を代表する
観光列車の導入

その他の施策

県や市町村等が実施する
既存事業を着実に推進

R7での到達目標

・各市町村における観光施設・景観の整備が計画に沿って着実に進んでいる
・肥薩線ピュースポットについて関係者と協議の上、候補地が選定されている
・駅から肥薩線ピュースポットまでの動線の考え方について整理され、2026年にはピュースポットの基本設計に着手できる状態になっている

・人吉駅舎及び周辺観光施策の整備に向けて、具体的な整備内容や規模について、関係する市町村計画と連動した検討が行なわれている
・土地・建物の所有権等の権利関係や所有権移転の時期等に関して関係者間での協議が進んでいる

・清流・球磨川を軸とした眺望や、地域の特産品やおもてなしも組み合わせた列車のあり方について検討に着手している
・車両の新造(又は改造)に係るスケジュールが明確化されている
・新観光列車の新造(もしくは改造)に係る費用、復旧後の運行に係る費用について、どのような費用負担の考え方とするか整理している

・各市町村で既に取り組んでいることを継続して実施し、肥薩線周辺地域の魅力向上や観光客の増加を促進する

R7における事業進捗及び今後の課題と方向性

R7
進捗

・ピュースポット整備について、
①展望所の設置と②看板設置による案内の2つの方向性(案)を確認
・ピュースポットの候補地を複数案共有

・関係者間において人吉市の駅前整備事業の進捗を共有
・SL人吉の動態展示

・コンセプト案の企画について、関係者間で委託事業の仕様内容を検討
・車両導入の方向性や費用、スケジュールについて関係者間で協議
・車両導入に向けた財源の検討

・各市町村における花火大会やマンガ・アニメ等と連携した既存イベントの実施
・その他県や各市町村等における既存の観光振興事業の実施

今後の
方向性

・整備が必要な候補地の絞り込みや駅との動線について協議
・ピュースポット以外の観光施設・景観も各市町村等の計画に基づき着実に進捗

・駅周辺整備について引き続き検討・協議
・駅舎活用の可能性について協議・検討

・委託事業の着実な進捗とコンセプト案の企画
・車両導入経費や運行経費、費用負担の考え方について協議

・DCやくま川鉄道の全線運行再開を契機に観光誘客の取組みを推進

J R肥薩線復興アクションプランR7単年度計画における事業報告

【日常利用施策・基盤整備】

第1期重点施策

生活・交流拠点としての
駅再整備

くま川鉄道や新八代駅
への直通運転

通勤・通学時間帯の
増発

その他の施策

市町村内および広域の
二次交通整備

R7での到達目標

・新たに整備する施設（八代市、球磨村）の具体的な立地について、検討している
・各駅舎の権利関係について、JR九州と所有権の移転やその時期などの事項について協議が進んでいる

・直通運転ダイヤの検討の前段として、被災前の肥薩線利用実態・くま川鉄道の利用実態が整理されている

・被災前における地元住民の通勤・通学実態を調査し、状況が把握できている
・今後実施予定の実証実験にかかる実証ダイヤについて検討し、課題を整理する

・肥薩線周辺地域における広域的な二次交通整備の前段として、各市町村において二次交通整備に向けた取組みが進められている

R7における事業進捗及び今後の課題と方向性

・坂本駅及び渡駅の現状と整備の前段となる立地について協議
・坂本駅周辺の調査・測量委託業務の仕様内容を調整
・渡地域のまちづくりと絡めた駅立地の検討状況を踏まえ、今後の方向性を協議

・肥薩線の被災前の利用状況を把握
・豊肥本線と南阿蘇鉄道の接続ダイヤを確認
・乗入れに必要な鉄道施設等の整備事業のスキームについて過去事例を確認

・被災前の肥薩線及びくま川鉄道の通学利用実態を把握
・被災前のJR肥薩線及びくま川鉄道のダイヤを確認

・各市町村において既存の二次交通整備施策の推進
・熊本県地域公共交通計画と連動した二次交通整備に向けた取組みの実施

・整備方針の詳細化について協議
・坂本、渡以外の駅舎においても、各市町村の計画に基づき整備

・乗入れのニーズ、費用対効果について検討・協議
・乗入れに必要な設備にかかる経費について検討・整理

・人吉・球磨地域公共交通計画の達成状況の評価及び次期計画の策定

R7
進捗

今後の
方向性

J R 肥薩線復興アクションプラン R7単年度計画 事業報告

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
観光利用施策推進部会

1 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

令和7年度（2025年度）の到達目標

- ☐ 各市町村における観光施設・景観の整備が計画に沿って着実に進んでいる
- ☐ 肥薩線ビュースポットについて関係者と協議の上、候補地が選定されている
- ☐ 駅から肥薩線ビュースポットまでの動線の考え方について整理され、2026年にはビュースポットの基本設計に着手できる状態になっている

◆令和7年度（2025年度）単年の取組みにおける進捗状況

実施事項	実施主体	進捗状況
各市町村における観光施設・景観の整備	人吉市	〔人吉城歴史館の再整備〕 リニューアルオープン：令和7年4月17日 累計来館数：12,471人（R8/5/28時点） 
	八代市	〔広域交流センターさかもと館（道の駅）整備事業〕 ・再整備に必要な実施設計が完了 ・R8年度当初から工事着手するために、R7年度末に業者選定を行い、契約を締結 
	相良村	〔川辺川魅力創造事業(交流拠点施設の整備)〕 ・交流拠点施設整備工事に着手 〔川辺川流域振興プラン(水辺拠点・ネットワーク整備等)〕 ・村内の川辺川流域の国・県が整備する遊水地等（柳瀬下鶴・黒石地区）の利活用施設整備に伴う設計中 
	球磨村	〔球磨村観光案内所(一勝地駅敷地内案内所の運営)〕 ・観光案内所において、来場者への観光案内のほか、一勝地駅の入場券を販売（R7年度販売実績3,707枚） 〔沿線をはじめとする村内の景観整備〕 ・肥薩線沿線をはじめ、村内で樹木伐採や草払いを実施 

1 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

◆令和7年度（2025年度）単年の取組みにおける進捗状況

実施事項	実施主体	進捗状況
各市町村における観光施設・景観の整備	熊本県	【球磨川リバーミュージアム構想】 ・将来的な球磨川リバーミュージアムの実現に向け、球磨川流域の観光関係団体等との意見交換会やキックオフフォーラム等を実施し、「球磨川リバーミュージアム構想」を策定
肥薩線ビュースポット候補地の検討	県、JR、八代市、球磨村 WG	・ビュースポットの整備について、①展望所の設定と②看板設置による案内の2つの方向性（案）を確認 ・関係者間で肥薩線ビュースポット候補地を複数案共有
肥薩線ビュースポットにおける駅からの動線確認		



令和7年度の成果を踏まえた今後の方向性

- ☐ ビュースポットとして整備が必要な候補地が選定されていないため、**整備が必要な候補地の絞り込み**を行う
- ☐ 候補地の選定に併せて、ビュースポットの**観光客の利便性等**を考慮した、**駅とビュースポットの動線について関係者間で協議**を行う
- ☐ ビュースポット以外の観光施設・景観についても、各市町村の計画等に基づき着実な進捗を図る



参考事例：只見線ビュースポット

2 観光の拠点としての人吉駅周辺整備

令和7年度（2025年度）の到達目標

- ☐ 人吉駅舎及び周辺観光施策の整備に向けて、具体的な整備内容や規模について、関係する市町村計画と連動した検討が行われている
- ☐ 土地・建物の所有権等の権利関係や所有権移転の時期等に関して関係者間での協議が進んでいる

◆令和7年度（2025年度）単年の取組みにおける進捗状況

実施事項	実施主体	進捗状況
整備内容の精査 人吉駅舎の権利関係の整理	人吉市、県、JR [WG]	・関係者間で人吉駅周辺の整備にかかる調査事業の進捗について共有 [人吉駅周辺公共施設等利活用可能性調査] ・人吉駅前周辺の現況・利用者ニーズの把握、課題整理、基本理念・基本方針の設定、駅前空間のゾーニング及び格納庫等の基本構想の検討を段階的に進め、関係機関との協議・調整を行い、整備構想プランとして取りまとめた。
SL人吉動態化の内容詳細化	人吉市	[SL人吉動態化事業] ・令和7年11月16日に動態化のお披露目式典を実施。令和8年1月から月に一度、1日3回（10時・13時・15時）動態展示を実施。



令和7年度の成果を踏まえた今後の方向性

- ☐ **駅周辺整備については引き続き協議・検討を行い、着実な進捗を図る**
- ☐ 駅舎の整備については関係者間で方向性が定まっていないため、観光の拠点としての活用が見込めるよう、**駅舎活用の可能性について協議・検討を行う**

6 地域を代表する観光列車の導入

令和7年度（2025年度）の到達目標

- ☐ 清流・球磨川を軸とした眺望や、地域の特産品やおもてなしも組み合わせた列車のあり方について検討に着手している
- ☐ 車両の新造（又は改造）に係るスケジュールが明確化されている
- ☐ 新観光列車の新造（もしくは改造）に係る費用、復旧後の運行に係る費用について、どのような費用負担の考え方とするか整理している

◆令和7年度（2025年度）単年の取組みにおける進捗状況

実施事項	実施主体	進捗状況
コンセプト案の企画	県、市町村、JR	・観光列車のコンセプト案の企画について、関係者で委託事業の仕様内容を検討
コンセプト案の絞り込み		
概算費用の確認	JR、県 WG	・車両導入の方向性（新造又は改造）について関係者間で協議 ・新造と改造のそれぞれのパターンにおける費用や製造工事着手のスケジュールについて関係者間で協議
納期等のリードタイムの確認		
スケジュールの詳細化		
費用負担スキームの検討	県、市町村、JR	・車両導入に活用可能な財源を検討



令和7年度の成果を踏まえた今後の方向性

- ☐ 委託事業を着実に進め、肥薩線を象徴する観光列車のコンセプト案の企画を行う
- ☐ 車両製造費用については、将来の製造時にかかる費用の詳細化には至らなかったため、まずは車両導入にかかる諸条件を整理しながら、製造費用と費用負担の考え方について検討・整理を行う
- ☐ 運行にかかる経費と費用負担の考え方についても、車両のコンセプト等を踏まえながら順次検討・整理を行う

J R 肥薩線復興アクションプラン R7年度単年度計画 事業報告

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
日常利用施策・基盤整備推進部会

令和7年度（2025年度）の到達目標

- ☐ 新たに整備する施設（八代市、球磨村）の具体的な立地について、検討している
- ☐ 各駅舎の権利関係について、JR九州と所有権の移転やその時期などの事項について協議が進んでいる

◆令和7年度（2025年度）単年の取組みにおける進捗状況

実施事項	実施主体	進捗状況
各市町村における駅周辺整備	人吉市	[人吉駅前周辺公共施設等利活用可能性調査] ・人吉駅前周辺の現況・利用者ニーズの把握、課題整理、基本理念・基本方針の設定、駅前空間のゾーニング及び格納庫等の基本構想の検討を段階的に進め、関係機関との協議・調整を行い、整備構想プランとして取りまとめた 
	八代市	[坂本支所等建設事業] ・支所機能とコミュニティセンターの複合施設に加え、診療所、森林組合、商工会事務所を併設した交流拠点であり河川防災センターや避難所機能を有した防災拠点（R7年12月竣工） ※構造:鉄筋コンクリート・一部鉄骨造 2 階建て 延べ床面積=約2,300㎡ 
	湯前町	[湯前駅レールウイング複合施設再整備事業] ・くま川鉄道全線開通に向け、終着駅である湯前駅周辺の再整備事業に取り組み、湯前駅レールウイング複合施設に大屋根及び付属棟の新設、老朽化した床の改修を実施 ・R4年度～R7年度の事業で、総事業費は397,756千円 

12 生活・交流拠点としての駅再整備

◆令和7年度（2025年度）単年の取組みにおける進捗状況

実施事項	実施主体	進捗状況
各市町村における駅周辺整備	球磨村	[渡小跡地周辺の村有地活用] ・「賑わい拠点施設整備基本計画」の策定に向けて、検討委員会やプレイヤー会議などを実施し、整備方針や施設機能の検討を行った ・基本計画はR8年度中に完成予定、基本計画に基づいて施設整備を行う方針 ・賑わい拠点整備に併せてJR渡駅の復旧についても、国、県、JRの関係機関で意見交換を実施 [遊水地公園の整備] ・八代河川国道事務所、人吉市、相良村と利活用検討会議を実施 ・遊水地本体工事はR12年度頃まで続く予定で、現在は八代河川国道事務所と連携しながら、計画を調整中
駅立地の検討	県、八代市、球磨村、JR [WG]	・坂本駅及び渡駅の現状と整備の前段となる立地について関係者間で協議 ・坂本駅周辺の再整備に向けた調査・測量等の実施に向けて調査委託事業の仕様内容を調整 ・渡地域のまちづくりと絡めた駅の立地の検討状況を踏まえ、今後の方向性について関係者間で協議 ・各駅舎の現在の所有者等の権利関係について順次確認
整備項目（規模、機能）の整理		
事業スキームの詳細化		



令和7年度の成果を踏まえた今後の方向性

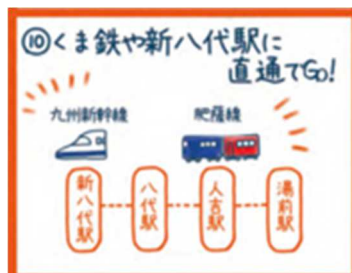
- ☐ 基本設計に向け、**坂本駅・渡駅の整備方針（概算費用、事業主体、駅の規模・機能等）の詳細化について関係者間で協議・整理を行う**
- ☐ 坂本駅、渡駅以外の駅舎においても、各市町村で計画する周辺整備の着実な進捗を図る

令和7年度（2025年度）の到達目標

- ☐ 直通運転ダイヤの検討の前段として、被災前の肥薩線利用実態・くま川鉄道の利用実態が整理されている
- ☐ 被災前における地元住民の通勤・通学実態を調査し、状況が把握できている
- ☐ 今後実施予定の実証実験にかかる実証ダイヤについて検討し、課題を整理する

◆令和7年度（2025年度）単年の取組みにおける進捗状況

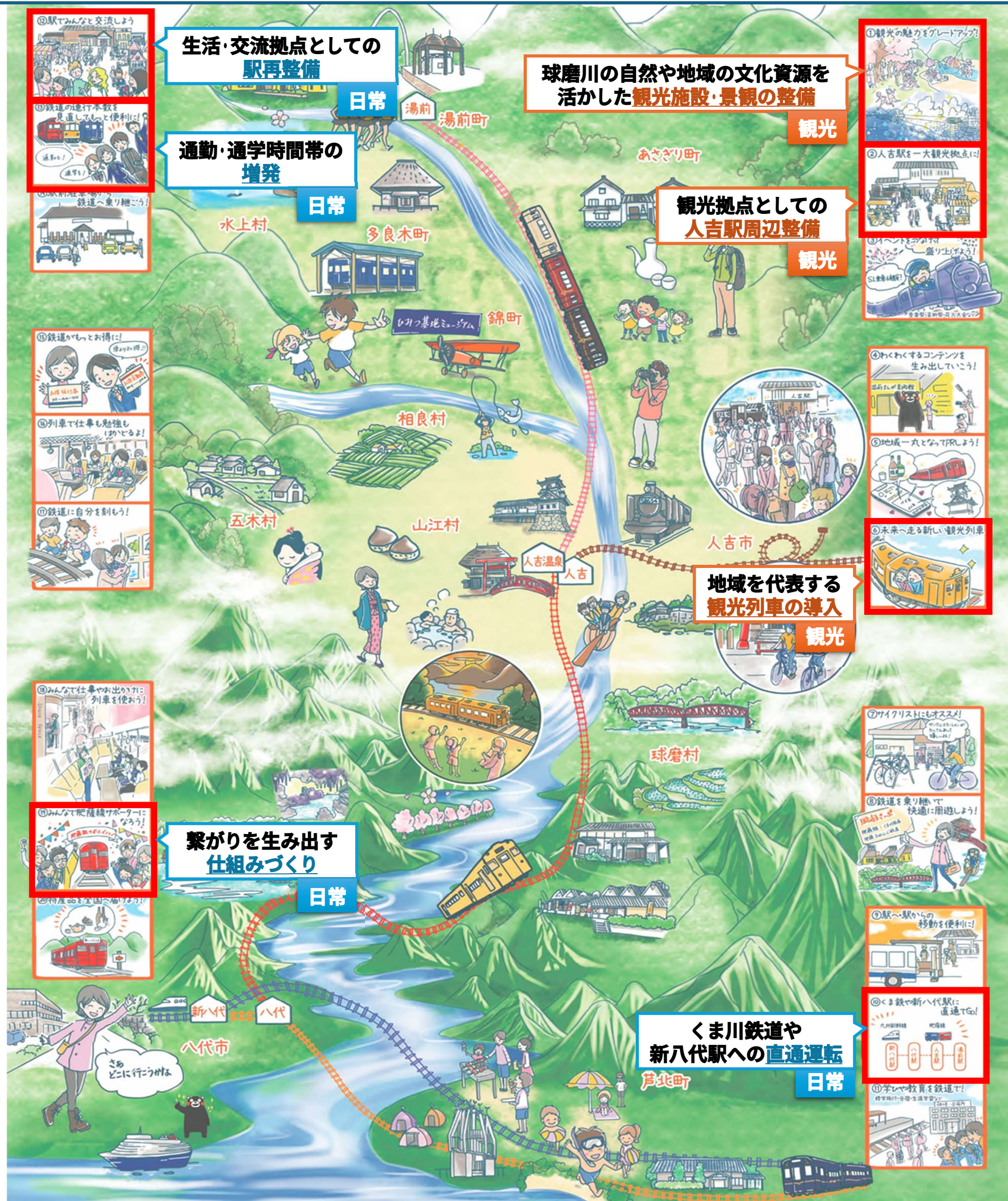
実施事項	実施主体	進捗状況
各駅における被災前の利用状況把握	各市町村、くま川鉄道	・JR九州の線区別利用状況等から、被災前の利用状況を把握 ・くま川鉄道の被災前の利用状況を把握
豊肥本線の事例調査	県、JR、くま川鉄道	・豊肥本線と南阿蘇鉄道の接続ダイヤを確認 ・過去に実施した、乗入れに必要な鉄道設備等の整備事業のスキームを確認
被災前の通勤・通学利用実態の調査	県、JR、くま川鉄道	・被災前の通学利用実態を把握
実証ダイヤの検討	県、JR、くま川鉄道	・被災前のJR肥薩線及びくま川鉄道のダイヤを確認



令和7年度の成果を踏まえた今後の方向性

- ☐ 現在の通勤・通学事情に沿った乗入れのニーズ、費用対効果について検討を行う
- ☐ JR肥薩線における乗入れに必要な設備の整理にまで至っていないため、必要な設備の整理と初期投資費用について検討を行う

- ◆ 「JR肥薩線復興アクションプラン」においては、肥薩線の利活用推進を図るべく、「観光利用」及び「日常利用」の観点から20の具体施策と復旧時の数値目標等を記載。
- ◆ 第2期にあたるR9～11の3年間においては、**くま川鉄道の全線運行再開を契機とした観光利用施策と、運行再開に向けた地元の機運醸成**に重点的に取り組む。



J R 肥薩線復興アクションプラン 中期計画・単年度計画について

J R肥薩線復興アクションプラン第2期中期計画及びR9単年度計画の概要について

- ・ アクションプランで定められた目指すべき地域の姿をもとに、中期計画・単年度計画を策定
- ・ 第2期（R9～11）では、**くま川鉄道の全線運行再開を契機とした観光利用施策に重点的に取り組む**とともに、第1期（R7～8）に引き続き、観光利用施策／日常利用施策・基盤整備の重点施策を設定し、重点施策を中心に着実に推進する
- ・ また、運行再開に向けて地元の機運醸成を図るため、**日常利用施策においては、「長期間にわたる『繋がり』を生み出す仕組みづくり」を新たに重点施策に設定**する

【観光利用施策】

第2期重点施策

球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

観光の拠点としての人吉駅周辺整備

地域を代表する観光列車の導入

その他の施策

県や市町村等が実施する既存事業を着実に推進

+ くま川鉄道の全線運行再開を契機とした観光施策の推進

第2期で目指す姿（中期計画）

・各市町村計画に基づき、観光施設・景観の整備を推進されている
・肥薩線ビュースポットの整備内容の詳細化を行い、ビュースポット整備の着手ができています

・人吉駅周辺整備について内容が整理され、具体的な整備が推進されている
・SL人吉の動態展示を活かしたイベント等が実施されている

・新観光列車の詳細設計が実施され、製造工事の発注準備ができています
・新観光列車のコンセプトに基づいたおもてなしや車内サービスの検討が進んでいる

・各市町村で既に取り組んでいることを継続して実施し、肥薩線周辺地域の魅力向上や観光客の増加を促進する

具体的な取組み例（単年度計画）

・観光施設・景観を活かした販促・創出等の施策実施
・ビュースポットの整備内容詳細化

・人吉駅周辺整備の内容深度化
・関連計画への反映
・SL人吉を活用したイベントの実施

・車両導入に向けた課題の抽出
・車両デザインの検討
・サービス・おもてなしの内容検討

・花火大会やマンガ・アニメ等と連携した既存イベントの実施
・その他県や各市町村等における既存の観光振興事業の実施

J R肥薩線復興アクションプラン第2期中期計画及びR9単年度計画の概要について

- ・ アクションプランで定められた目指すべき地域の姿をもとに、中期計画・単年度計画を策定
- ・ 第2期（R9～11）では、くま川鉄道の全線運行再開を契機とした観光利用施策に重点的に取り組むとともに、第1期（R7～8）に引き続き、観光利用施策／日常利用施策・基盤整備の重点施策を設定し、重点施策を中心に着実に推進する
- ・ また、運行再開に向けて地元の機運醸成を図るため、日常利用施策においては、「長期間にわたる『繋がり』を生み出す仕組みづくり」を新たに重点施策に設定する

【日常利用施策・基盤整備】

第2期重点施策

長期間にわたる「繋がり」
を生み出す仕組みづくり

生活・交流拠点としての
駅再整備

くま川鉄道や新八代駅への
直通運転

通勤・通学時間帯の増発

その他の施策

市町村内および広域の
二次交通整備

第2期で目指す姿（中期計画）

・肥薩線サポーターズクラブ、クラウドファンディング等の内容拡大について、課題が整理できている
・ふるさと納税で肥薩線を応援できる仕組みについて、検討が進んでいる

・坂本駅・渡駅の整備内容について具体化されている
・人吉駅等の一部駅舎の利活用に向けた検討が進んでいる

・直通運転化・増発に向けた課題整理ができている

・肥薩線周辺地域における広域的な二次交通整備の前段として、各市町村において二次交通整備に向けた取組みが進められている

具体的な取組み例（単年度計画）

・各仕組みの詳細化
・ふるさと納税返礼品の内容検討
・肥薩線サポーターズクラブの管理運営

・坂本駅・渡駅の整備内容の詳細化
・人吉駅等の利活用に向けた課題の整理

・直通運転化・増発に向けた課題の抽出

・人吉・球磨地域公共交通計画等に基づく二次交通整備施策の推進

J R 肥薩線復興アクションプラン 第 2 期中期計画

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
観光利用施策推進部会

第2期中期計画

1 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉・球磨地域の観光拠点となる人吉市街地では、青井阿蘇神社の参道整備、球磨川沿いの川床整備、中川原公園の整備等を一体的に推進し、「歩いて楽しめるまち」が形成されている
- 球磨村では、球磨川・鍾乳洞・温泉・棚田等の観光資源を活かした「エメラルドロード」沿いの観光コンテンツが整備されている
- 球磨川の支流である川辺川沿いでは、水辺のキャンプ施設、川遊び施設、森林体験施設等が一体的に整備されている
- 球磨川第一橋梁付近を候補地として、「肥薩線ビュースポット」を整備し、球磨川の自然を背景に列車が走行する姿が地域の代表的な観光コンテンツに発展している
- 球磨川流域に点在する自然観光施設や文化施設等の一体的なPRが行われている

◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 「人吉市まちなかランドデザイン推進アクションプラン」に基づき、観光施設・景観の整備を推進するとともに、整備が進んだ施設・景観を活かした賑わい創出の施策が推進されている。
- 「球磨村観光振興計画」に基づき、球磨村特有の観光資源を活かした観光コンテンツやJR肥薩線・くま川鉄道とも連携した観光コンテンツの造成が推進されている。
- その他、各市町村が策定している計画等に基づき、交流拠点施設や遊水地等の利活用施設の整備が推進されている。
- 肥薩線ビュースポットの整備内容の詳細化を行い、ビュースポット整備の着手ができています。

◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
各市町村における観光施設・景観の整備	☆市町村、地域事業者等	・ 各市町村の計画に沿って施設・景観整備を実施 ・ 整備ができた施設・景観を活かした賑わい創出等の施策を実施 ※ 各市町村における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正		
市町村横断での取組事項の整理・実行	☆県、市町村、DMO等	・ 各市町村の観光施設・景観を活かした広域での連携事項や連携方法の精査 ・ （連携事項や方法がまとまり次第）連携した取組みの推進 ※ 各市町村における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正		
肥薩線ビュースポットの基本設計・整備	☆県、JR	・ 整備内容の詳細化	・ 整備内容の詳細化・深度化 ・ （整備内容が整い次第）整備着手	※ 今後調整

2 観光の拠点としての人吉駅周辺整備

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉駅舎および駅周辺での飲食・商業・学習施設や宿泊施設等の整備を進め、地域の観光・生活・交流拠点に発展している
- 人吉駅前に展示中のSL人吉は、九州唯一の動態保存を実施した上で、博物館の建設や体験乗車の提供等も行い、既設の「人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868」と連携した一大観光コンテンツに発展している
- こうした取組を通して、地域を訪れる観光客が人吉駅周辺を目的地とし、さらに交通手段として肥薩線の選択にもつながっている



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 人吉駅周辺整備について整備内容が整理され、市計画にも反映されているとともに、具体的な整備が推進されている。
- 肥薩線の復旧前から人吉駅が観光拠点として選ばれるよう、SL人吉の動態展示を活かしたイベント等が実施されている。



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
市計画への反映、詳細計画策定 （駅周辺整備）	☆市町村	● 駅周辺整備内容の深度化 ● 関連計画への反映	● 駅周辺整備内容の深度化 ● （整い次第）駅周辺整備着手	※ 市における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正
SL人吉動態保存展示	☆市町村	● SL人吉を活用したイベント等の実施	※ 市町村における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正	

6 地域を代表する観光列車の導入

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 被災前のSL人吉に相当する地域を代表する観光列車として、「球磨川の雄大な自然を堪能」、「地域の魅力との出会い」をテーマとした観光列車を新規に導入し、土休日を中心に1日1往復程度走行している
- 当該列車は、くま川鉄道や肥薩おれんじ鉄道で走行する機会も設け、県南地域一体となった観光振興に活用している
- 被災前の「かわせみやませみ」、「いさぶろうしんぺい」に相当する観光列車が、人吉～八代～熊本間で1日数往復程度引き続き走行し、観光利用にも日常利用にも活用できる速達列車として利用されている



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 新観光列車に係る製造費用、デザイン等が整理された上で、車両の詳細設計が実施されており、車両の製造工事を発注する準備ができている
- 新観光列車のコンセプトに基づいたおもてなしや車内サービスの検討が進んでいる



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
新観光列車の詳細設計	☆JR、県	● 車両導入に向けた課題の抽出 ● 車両デザインの検討	● 車両デザインの詳細化	● 車両設計に着手 ● 車両製造の準備
列車内や駅で提供するサービス・おもてなしの詳細化	☆県、市町村、JR	● コンセプトを基に沿線自治体と意見交換 ● 他の観光列車の事例研究 ● 肥薩線の新観光列車におけるサービス検討		

J R 肥薩線復興アクションプラン R9年度単年度計画

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
観光利用施策推進部会

1 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

◆令和9年度（2027年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

実施事項	実施主体	関連事業	予算（千円）
各市町村における観光施設・景観の整備/整備ができた施設・景観を活かした賑わい創出等の施策実施	八代市	広域交流センターさかもと館（道の駅）整備事業	99,523
	相良村	川辺川魅力創造事業（交流拠点施設の整備）	－
		川辺川流域復興プラン（水辺拠点・ネットワーク整備等）	417,827
	山江村	栗の駅整備事業	209,396
	球磨村	球磨村観光案内所（一勝地駅敷地内案内所の運営）	6,400
		沿線をはじめとする村内の景観整備	13,400
	五木村	道の駅再整備事業	－
	県	球磨川リバーミュージアム構想（地域資源のサイン設置等）	17,100
広域での連携事項や連携方法の精査	県、市町村	肥薩線を利用する観光客の移動動線の考え方、広域連携の考え方を整理	－
ビュースポットの整備内容の詳細化	県、JR、八代市、球磨村 WG設置	ビュースポットの具体的な整備内容（規模・規格、機能等）を整理	－

令和9年度（2027年度）の到達目標

- ・ 各市町村における観光施設・景観の整備が計画に沿って着実に進んでいる
- ・ 肥薩線ビュースポットについて、整備内容の詳細な検討ができている

※予算の欄の「－」は、予算額未定または予算なし

◆令和9年度（2027年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

実施事項	実施主体	関連事業	予算（千円）
駅周辺整備内容の深度化	人吉市、県、JR [WG設置]	これまでの検討内容の深度化（整備施設の規模・機能・整備手法等）	－
関連計画への反映	人吉市、県	駅周辺整備の方針を関連する計画へ反映	－
SL人吉を活用したイベント等の実施	人吉市	SL人吉動態化事業	6,930
		SL人吉を活用した各種イベントの実施、動態展示や清掃活動の実施	－

令和9年度（2027年度）の到達目標

- これまでの検討・調査結果を踏まえ、人吉駅周辺整備の整備内容について深度化が図られている
- SL人吉のポテンシャルを活かしたイベント等が実施され、人吉駅前の賑わい創出ができています

※予算の欄の「－」は、予算額未定または予算なし

◆令和9年度（2027年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

実施事項	実施主体	関連事業	予算（千円）
車両導入に向けた課題の抽出	県、JR [WG設置]	車両導入に向けた検討課題を明確化する	－
車両デザインの検討	県、JR [WG設置]	新観光列車のコンセプト案に沿うようなデザインについて、地域の特性・観光資源も踏まえながら検討する	－
コンセプトを基に沿線自治体と意見交換	県、JR、市町村 [WG設置]	検討された新観光列車のコンセプトを基に、沿線自治体と新観光列車のあり方について意見交換	－
他の観光列車の事例研究 （おもてなし・車内サービス）	県、JR [WG設置]	肥薩線ならではのサービス・おもてなし内容を検討するため、国内の観光列車の事例を収集・研究する	－
新観光列車におけるサービス・おもてなし内容検討	県、JR、市町村 [WG設置]	新観光列車のコンセプト案に沿うような車内サービスの内容について、地域の特性・観光資源も踏まえながら検討する	－

令和9年度（2027年度）の到達目標

- ・ 車両導入に向けた課題の抽出ができており、車両設計・製造に向けた準備が進んでいる
- ・ 新観光列車のコンセプト案や地域の特性等を踏まえたデザインやサービス内容について、検討が進んでいる

※予算の欄の「－」は、予算額未定または予算なし

③ 音楽祭・芸術祭・花火大会等のイベント開催・PR

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
人吉市	人吉花火大会	2,500	2,500
人吉市	S L 人吉・鉄道フェス	4,000	4,000
八代市	全国花火競技大会事業	41,279	41,279
八代市	観光交流事業（城下町「やつしろ」のおひな祭り）	1,500	1,500
錦町	ふるさと祭り	7,500	7,500
相良村	サガラッパ祭り	8,851	8,851
相良村	さがら産業文化祭	13,286	13,286
山江村	やまえ栗まつり	7,000	7,000
あさぎり町	地域イベント補助事業	8,130	8,130
球磨地域振興局	日本遺産サイクリングinひとよしくま	2,000	2,000
五木村	五木の祭り実行委員会助成金	14,000	—
多良木町	たらぎ農林商工祭	15,166	15,166
多良木町	たらぎ音楽祭	1,150	1,150
多良木町	多良木町文化祭	250	250

4 マンガ、アニメ、地域資源と連携したコンテンツ組成

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
熊本県・人吉市	夏目友人帳影絵	—	—
芦北町	芦北伽哩街道	1,010	—
芦北町	芦北水俣放課後ていぼう日誌ぶらりメシ	500	—
多良木町	簡易宿泊施設運営	20,750	20,750
湯前町	ゆのまえ漫画フェスタ	8,200	—
湯前町	漫画美術館での各種展示会	10,000	—
あさぎり町	あさぎりクエスト	4,400	4,400
熊本県 (球磨川流域復興局)	球磨川リバーミュージアム構想【再掲】	9,600	17,100
熊本県 (球磨地域振興局)	管内市町村担当者連携会議の立ち上げ	—	—
熊本県 人吉温泉観光協会	夏目友人帳×人吉・球磨デジタルスタンプラリー	17,226 (うち一部)	—
熊本県観光連盟	くまもっと旅行社プラットフォーム事業	10,000 ※プラットフォーム全体の予算	—

5 地域の自然、文化施設、産業遺産と連携したPR

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
八代市	観光交流事業（八代 妙見祭保存振興会への補助）	4,500	4,500
水上村	水上村観光振興助成事業	30,859	27,359
熊本県	球磨川リバーミュージアム構想【再掲】	9,600	17,100
多良木町	多良木町観光振興助成事業	8,500	8,500
多良木町	球磨拳世界大会	1,740	—

5 地域の自然、文化施設、産業遺産と連携したPR

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
熊本県・人吉市	デジタルイラストマップによる周遊促進、PR 「人吉・球磨デジタルマップ」	—	—
熊本県 (球磨地域振興局)	広域的な観光施策推進に向けた地域おこし協力隊の採用	26,767	—
五木村	観光振興業務助成金	13,000	—

7 広域でのサイクルツーリズム拠点整備

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
八代市	アウトドアツーリズム推進事業	414	414
あさぎり町	自転車走行空間整備事業	14,000	20,000
熊本県他 (県南広域本部)	くまもと★みなみおれんじシーサイドライド	4,000	—
熊本県他 (球磨地域振興局)	人吉球磨地域自転車ネットワーク計画	400	—

8 周遊旅行の拡大に向けた環境整備や特徴的な旅行商品・フリーパスの組成

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
錦町	コンパクトSDGsスタディプログラムプロジェクト事業	—	—
多良木町	簡易宿泊施設運営【再掲】	20,750	20,750
株式会社くまもとDMC	台湾教育部補助金プログラム「熊本ツアー（水と自然、そして人間の共生）」受入・教育観光推進事業（仮）	—	12,000

※予算の欄の「—」は、予算額未定または予算なし

J R 肥薩線復興アクションプラン 第 2 期中期計画

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
日常利用施策・基盤整備推進部会

19 長期間にわたる「繋がり」を生み出す仕組みづくり

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 「肥薩線サポーターズクラブ」（入会費・年会費無料）の会員基盤を拡大し、復旧に向けた地域の機運醸成を図る
- 無償のサポーターズクラブ活動に加えて、個人や関係地域の法人が「投資や寄附で肥薩線の復旧を応援できる仕組み」を導入し、参加者には特典を付与することで応援を長期間にわたる「繋がり」や実際の利用に発展させる
- 地域外の居住者も「肥薩線サポーターズクラブ」や「投資や寄附で肥薩線の復旧を応援できる仕組み」に参加可能とすることで、関係人口の創出や肥薩線の観光利用増加に繋げる



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 肥薩線サポーターズクラブ、クラウドファンディング等の内容拡大について、課題が整理できている
- ふるさと納税で肥薩線を応援できる仕組みについて、検討が進んでいる



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
肥薩線サポーターズクラブ、クラウドファンディング等の内容拡大	☆県、市町村	・ 各仕組みの詳細化	・ 内容拡大の検討	・ （準備が整い次第）順次実施
ふるさと納税返礼品の内容拡大	☆県、市町村	・ 返礼品の内容の検討	・ 返礼品の内容の検討	・ （準備が整い次第）順次実施
肥薩線サポーターズクラブの運営	☆県	・ 管理運営		

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 坂本駅は、駅周辺で整備が進む行政・商業・医療施設、災害公営住宅等の生活・交流施設へ、駅から徒歩で移動できる環境を整え、駅と一体となったまちづくりが進んでいる
- 渡駅は、球磨村復興計画や利用ニーズに沿って、駅再整備を検討する。その他の駅も、復旧工事にあたり最適な駅立地の検討がなされている
- このほか、人吉駅等の一部駅の駅舎内や駅近くで、学習スペースや保育施設等の生活拠点や、カフェ等の交流拠点の整備がなされている



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 坂本駅・渡駅の整備内容について具体化されている
- 人吉駅等の一部駅舎の利活用に向けた検討が進んでいる



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
各市町村における駅周辺整備	各市町村	・ 各市町村における駅周辺整備		
坂本駅・渡駅の整備内容の具体化	☆市町村、県、JR	・ 整備内容の具体化	・ 整備内容の具体化 ・ 設計に着手	
人吉駅舎等の利活用策の検討	☆県、市町村、JR	・ 駅舎の利活用に向けた課題整理		

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 肥薩線とくま川鉄道が直通運転化することで、肥薩線沿線からくま川鉄道沿線や、くま川鉄道沿線から八代方面への通勤・通学、外出、業務等利用の利便性が向上している
- 肥薩線を新八代駅まで直通運転化することで、肥薩線の新幹線アクセス線としての機能を拡張し、鉄道利用による人吉・球磨地域から熊本・博多・鹿児島・関西方面の利用が増加している
- 遠方から人吉・球磨地域へのアクセス性を向上させることで、入込客数が増加している
- 朝・夕時間帯で増発し、球磨村エリアや人吉市西部在住の住民を中心に肥薩線での通勤・通学利便性が向上している
- テスト期間に臨時ダイヤ設定を行うなど、柔軟な鉄道移動が提供されている

被災前時点のダイヤ

下り (人吉方面)				上り (八代方面)							
5時	6時	7時	～	12時	13時	～	17時	18時	19時	20時	～
●	●			●				●	●		



復旧後のダイヤ（例）

（○：臨時便）

下り (人吉方面)				上り (八代方面)							
5時	6時	7時	～	12時	13時	～	17時	18時	19時	20時	～
●	●	●		●	○		●	●	●	●	

◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 直通運転化・増発に向けた課題整理ができている

◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
課題の整理	☆県、JR、くま川鉄道	・ 直通運転化・増発に向けた課題の抽出・整理		

J R 肥薩線復興アクションプラン R9年度単年度計画

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
日常利用施策・基盤整備推進部会

19 長期間にわたる「繋がり」を生み出す仕組みづくり

◆令和9年度（2027年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

実施事項	実施主体	関連事業	予算（千円）
「繋がり」を生み出す仕組みの詳細化	県、市町村	肥薩線サポーターズクラブ、クラウドファンディング等の内容拡大に向けた各仕組みの詳細化	－
ふるさと納税返礼品の内容検討	県、市町村	ふるさと納税返礼品の内容検討	－
肥薩線サポーターズクラブの管理運営	県	肥薩線サポーターズクラブ運営事業（オリジナルグッズ作成等）	1,017千円

令和9年度（2027年度）の到達目標

- ・ 肥薩線サポーターズクラブ、クラウドファンディング等の内容拡大に向けた検討が進んでいる
- ・ ふるさと納税返礼品の内容拡大について、検討が進んでいる

※予算の欄の「－」は、予算額未定または予算なし

◆令和9年度（2027年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

実施事項	実施主体	関連事業	予算（千円）
各市町村における駅周辺整備	八代市	定住促進対策事業	7,344
	球磨村	渡小跡地周辺の村有地活用	30,000
		遊水地公園の整備	—
整備項目（規模、機能）の整理	八代市、球磨村、 県、JR 【WG設置】	駅の周辺整備に向けた前提条件の整理	—
整備費用の精査	八代市、球磨村、 県、JR 【WG設置】	駅の周辺整備に向けた整備費用の精査	—
事業スキームの決定	県、八代市、球磨 村、JR 【WG設置】	整備費用を踏まえた事業スキームの決定	—

令和9年度（2027年度）の到達目標

- ・ 新たに整備する施設（八代市、球磨村）の具体的な整備内容について整理され、整備費用が確認されている
- ・ 整備に係る事業スキームが関係者間で確認できている

※予算の欄の「—」は、予算額未定または予算なし

◆令和9年度（2027年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

実施事項	実施主体	関連事業	予算（千円）
直通運転化に必要となる設備の検討	県、JR、くま川鉄道 [WG設置]	直通運転化に必要となる設備の検討、整理	－
運行主体の検討	県、JR、くま川鉄道 [WG設置]	肥薩線とくま川鉄道が直通運転化した場合の運行主体の検討	－

令和9年度（2027年度）の到達目標

- ・ 直通運転の実現に向けて、必要となる設備の検討が進んでいる
- ・ 肥薩線とくま川鉄道直通運転化した場合の運行主体について、整理されている

※予算の欄の「－」は、予算額未定または予算なし

9 市町村内および広域の二次交通整備

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
人吉市	人吉市予約型乗合タクシー	19,000	19,000
八代市	生活交通確保維持事業	124,651	125,000
多良木町	多良木町予約制乗合タクシー運行事業	8,211	9,000
湯前町	湯前町高齢者等移動支援助成事業（福祉タクシー）	7,300	—
山江村	やまえ乗合バスまるおか号	10,200	10,200
球磨村	コミュニティバス運行	—	—
あさぎり町	移動支援事業（デマンド交通）	22,296	20,948
錦町	錦町乗合タクシー	8,230	8,230
相良村	相良村予約型乗合タクシー運行事業・相良村コミュニティバス運行事業	4,398	—
芦北町	コミュニティバス、予約型乗合タクシー（運行中） AIオンデマンド交通・公共ライドシェアの検討	93,915	90,000

11 地域性を活かした学びの提供と、教育旅行の誘致

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
人吉市	SL人吉を使った教育プログラム化プロジェクト	—	—
八代市	大規模スポーツ大会等誘致事業	7,484	7,484
球磨村	災害語り部活動	40	40
株式会社くまもとDMC	台湾教育部補助金プログラム「熊本ツアー（水と自然、そして人間の共生）」受入・教育観光推進事業（仮）	—	12,000
人吉温泉観光協会	人吉球磨防災学習プログラム事業	—	—

14 自家用車や自転車との連携

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
八代市	新幹線定期券所有者に対する駐車場の割引	歳入減	歳入減

15 定期利用や遠方へのお出かけに対する利用助成

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
多良木町	多良木町高等学校等通学費助成事業	4,332	4,332
水上村	地域公共交通対策事業	43,522	43,547
湯前町	高等学校通学費補助	3,298	—

17 住民が鉄道に親しむ仕組みづくり

(千円)

団体名	事業名	R8予算	R9予算(案)
人吉市	S L 人吉動態化事業	6,930	6,930
人吉市	S L 人吉清掃体験	600	600
八代市	J R 肥薩線復旧を願う除草作業	—	—

※予算の欄の「—」は、予算額未定または予算なし